別紙１

2020年度（第48回）神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練実施について

LPｶﾞｽ･火薬･電気G

１．訓練の目的

本県では、大規模地震の切迫性が指摘されており、これらの地震に伴う高圧ガス事故災害が懸念されている。そこで、先般の東日本大震災における地震による甚大な被害の発生も念頭に置き、高圧ガスを取り扱う事業所等の地震防災意識の高揚を図るとともに、防災体制を検証し、関係機関等との連携体制の整備、充実を一層徹底するため、高圧ガスによる地震災害、事故を想定した実践的な訓練を実施する。

２．今年度の訓練実施方針（案）

高圧ガス地震防災訓練にあたっては、緊急事態宣言解除後の新しい生活様式を踏まえて内容を見直し、開催時及び事前の準備を含めて**感染拡大予防策を徹底した上で実施する。**また、訓練自体においても、**感染拡大状況において地震による高圧ガス事故災害が発生した場合を想定するなどの新たな観点を加える**ことを検討する。

３．今後の予定

・日時：2020年10月８日（木）　13：00～16：00（予定）
・場所：小田原市小田原アリーナ
・実施に向けた打合せ予定：７月７日･･･第１回全体会議
　８月３日･･･団体打ち合わせ会議・運送途上訓練会議
　９月８日･･･第２回全体会議
　９月28日、10月１日(予備日)･･･訓練リハーサル

４．訓練実施方法（案）

訓練の具体的な実施方法は、訓練の会議の場などで検討する。

＜訓練実施方法のアイデア例＞

・一般見学の受け入れを中止又は事前予約制とする。(参考:2019年度　訓練参加者182名、見学者227名)
・参加者は、「LINEコロナお知らせシステム」を利用する。
・ソーシャルディスタンスを確保して訓練を行うなど、感染予防に配慮しながらの地震発生時の対処方法を実施する。
・整列しない。整列する場合は２ｍ以上離れる。
・必要最小限の人数で訓練を行う。
・訓練時に使用する器具等の消毒作業を行う。
・ピンマイクの配布数を増やし、大きな声を出さないようにする。
・事前準備時の会議等は、可能な範囲で書面開催やWEB会議を取り入れる。

（以上）